

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 26 年度

| | | | |
|------------------|--|------------------|-----|
| 市町村名 | 志木市 | | |
| 提案事業名 | (仮称) 世代交流館もくせい設置事業 | | |
| 事業期間 | 26 年度 | ～ | 年度 |
| 事業の必要性、目的 | <p>現在、志木第四小学校内に設置されている地域複合センター「もくせい」は、各世代が出入りしてはいるものの、当該世代だけが単に施設を利用しているだけに終わっているのが現状である。今後は、各施設の設置目的を維持しながらも、当該世代だけが単に施設を利用して終わることなく、さまざまな世代相互の交流を図る新たなコミュニティの場へと転換させていくことが必要である。</p> <p>そのためには、既存の地域複合センター「もくせい」を、新たに世代間交流の場へと転換することで、さらなる高齢者の生きがいがづくりと施設利用の活性化を図っていく。</p> | | |
| 成果指標 | (成果を検証する指標) | | |
| | 平成27年度からの事業完全実施に向けたアンケート調査による満足度 | | |
| | (成果検証の具体的な方法) | | |
| | それぞれの事業で、平成27年度の完全実施に向けた市民の要望と現状の事業（平成26年度に実施した事業）についてのアンケート調査を実施する。 | | |
| | (上記の指標を設定した理由) | | |
| | 平成26年度については、多世代が交流できるスペース設置などの下地づくりと、事業がスムーズに移行できる年としているため、平成26年度に実施した事業についての満足度を調査することで、市民のニーズにあった事業を平成27年度から実施できる。 | | |
| | (成果の目標値) | | |
| 現状値 (26年4月現在) | — | 目標値 (27年3月時点) | 50% |
| (施設建設等の場合) | | | |
| 年間利用者数(目標) (人) | | 稼働率(目標) (%) | |
| 住民への公表方法及び特記事項 | | | |

【成果指標と構成事業の関連性】

平成26年度 構成事業

| 構成事業名 | 概要・成果指標との関連性 | 事業費(千円) |
|----------------------|---|---------|
| ① 世代間交流事業 | ハード ソフト 間接補 地域複合センター「もくせい」で、幅広い世代が交流できる「おんがく&すぼ一つレク」を実施することで、様々な世代相互の交流を図る新たなコミュニティの場へと転換させることができる。 | 1,680 |
| ② 子育て支援事業 | ハード ソフト 間接補 既存の「放課後子ども教室」事業をリニューアルし、高齢者の参加できる事業を開催し子どもと高齢者の触れ合う場を提供する。 また、既存事業である「カフェ・ランチルーム志木四小」の開所時間に、NPO法人による、子育て支援事業の定期的な開催や月1回の児童スペース（移動児童館）とすることで、子育て世代の来館を図り、コミュニケーションの場としての活用も推進する。 | 4,449 |
| ③ (仮称) 世代交流館もくせい設置事業 | ハード ソフト 間接補 (仮称) 世代交流館もくせいを世代間交流の場として、新しく利用することで、施設名称などの変更やパンフレット、案内板などの変更が必要になってくる。 また、今後不特定多数の人が施設を出入りすることが想定されるため、防犯体制を強化する必要もあることから、正面入口と非常口の2か所に防犯カメラを配備し、監視モニターを設置する。 | 2,300 |
| ④ | ハード ソフト 間接補 | |
| ⑤ | ハード ソフト 間接補 | |
| ⑥ | ハード ソフト 間接補 | |
| 合計 | | 8,429 |

【成果指標の達成見込み】

| | |
|----------------|---|
| 目標達成のための具体的な方策 | 目標達成のためには、まずは事業に参加してもらうことが必要である。施設の運用の変更に伴い、市の広報やホームページなど、さらにはパンフレットによる施設の案内など市民への周知を行っていく。 |
| 成果指標の達成見込み | 各種の事業を実施するにあたり、施設の関係各課で横断的な連携を取ることで、目標値は十分に達成できると考える。 |